



水石 玲子

◆防災士の育成について

問市内に防災士は何人みえますか。  
防災リーダー養成講座の過去3年間の受講人数、合格者の活躍の場の提供について伺います。

答市内在住の防災士有資格者は71名、養成講座の過去3年間の受講者数は平成25年39名、平成26年16名、平成27年9名。活躍の場の提供は、市で開催する各地域の災害図上訓練への参加、または各町で実施する防災訓練への参加。

問71名の防災士の中で何名の方が活躍してみえますか。

答過去3年間の災害図上訓練へ協力していただいた述べ人数という形でお知らせします。26年度述べ65人、27年度94人、28年度はまだ途中ですが70人の方に協力をお願いしています。

◆福祉避難所について

問市内に何か所あるのか、また、受け入れ可能人数は。

答5施設を指定しています。とき陶生苑に約30人、ウエルフェア土岐に

約10人、すこやか館に約10人、恵風荘に約10人、ひだまりに約10人、合計約70人の受け入れが可能になっております。

問福祉避難所の周知、徹底はされてみえるのか伺います。

答市のホームページを活用し、周知を図っていきます。

問災害時の受け入れ体制、指示、連絡網等の整備はなされてみえますか。

答福祉避難所開設に特化した訓練は実施していない。施設管理者及び施設職員との連携確認、広域避難所から福祉避難所への移送手段の確認、訓練の実施を今後予定しています。

◆被災者台帳システムについて

問被災者台帳システムを導入されてみえますか。また、今までに稼働されたことはありますか。

答岐阜県市町村行政情報センターがパッケージ化しているシステムをパソコンに取り入れている状況です。導入してはいるが稼働はしていない状況です。

◆B型肝炎ワクチン接種の助成について

問10月より0歳児に定期接種が始まりますが、接種対象年齢の引き上げと共に公費助成の考えはありますか。

答対象年齢の引き上げについては、現在、対応は考えておりません。

《第4回定例会一般質問》



北谷 峰二

◆美濃陶芸村について

問何らかの理由で作陶活動が出来なくなり村を出る時の条件はあるのか。

答陶芸村は市有地であり現在入村している方は市有地の普通財産と一緒に賃貸借契約を結んでおり貸付地の返還時は原状回復が原則。ただ陶芸村の場合は契約書に市の承諾があった場合はこの限りではない。

●提案①窯を作るのは大変なことでまた一から工房を作るのも大変であるから、もし退村する作家さんがおみえになればその工房、窯を次にやりたいなという方があれば使えるよう話ができればありがたい。

●提案②全く発想を変えて美濃陶芸村を陶芸というジャンルだけに絞らず、日本にはガラス、木彫、染色など様々な伝統工芸があり、伝統工芸を志している若者があり、土岐市的美濃陶芸村に日本全国から来てもらい、それぞれの卵を育てる村「土岐市伝統工芸村」にしては。

◆公園遊具及び器具について

問危険と判断すると修理しないで撤去する自治体が全国的に増えているが土岐市の対応は。

答年一回点検し、撤去及び更新の際地元の皆さん方の意見を伺いながら基本的には更新という方向で考えている。

問子供さんが公園で遊ぶということが大変少なくなっている。今は公園で遊ぶのは高齢者と言われる中、高齢者・大人向けの健康器具に替える自治体が増えている。土岐市において安全対策も含め健康器具を増設する考えは。

答健康づくり、老化防止に役立つ健康器具が注目されているが、先ず安全対策に十分留意し公園施設の維持修繕・更新を優先し、更新の際若しくは新設の時には安全等を加味し地元の皆様方の意見を伺いながら考えたい。

△土岐川公園の健康器具



△土岐川公園の健康器具



各務 和彦

◆コンビニ交付サービスについて

問 土岐市本庁において日曜窓口を開設しているが、コンビニ交付について今後の考え方と取り組みについて。

答 このサービスを利用していただくには、マイナンバーカードが必須で、その普及が必要不可欠でございます。東濃5市の戸籍住民情報関係部署による研究会を立ち上げており、平成27年度から検討を始め、本市独自の導入についても、導入に係わる経費、利用者の見込み、今後の日曜窓口をどうするのかという、その開設方法なども併せてさらに検討を進めてまいります。

◆熊本地震の教訓について

問 地域の自主防災組織について。

答 一人でも多くの住民の皆さんが、防災への関心を持っていただけるように、各町内で実施している災害図上訓練・各団体への防災出前講座等の開催により自助・共助の重要性等、市民の防災意識向上に努めるとともに、ハード面の支援ということ、防災資機材整備補助事業などの実施

により引き続き地域防災力の向上に努めてまいりたいと考えております。●市民の自発的な組織という形で、防災組織を立ち上げる地域もあると聞いていますので、運営及び補助金活用についての助言・支援も併せてよろしくお願いいたします。

問 市内の各防災倉庫の資機材の配備と使用体制について。

答 市内23カ所に設置してある市の防災倉庫につきましては、毎年定期的な点検・維持管理を図っております。現在、倉庫内に配備している資機材について、人口等も考慮して配分の見直しを行おうとしているところでございます。そのときに併せまして倉庫内に配置資機材一覧表を統一的にわかりやすい形で掲示したいと考えており、どの地域にどの資機材があるかということも横断的に知っていただくという意味で、併せて各町の連合会への資料提供についても実施してまいりたいと考えております。



△泉中学校防災倉庫

《第4回定例会一般質問》



和田 悦子

●土岐市駅前に賑わいを。

◆中心市街地活性化事業のふりかえりについて

問 中心市街地活性化事業は平成21年度から平成27年度の実施期間でしたが、その中のまちづくり活動支援事業が平成25年度で終了となった理由は。

答 新土岐津線整備事業を円滑に推進するためのソフト事業である。自主的なまちづくり活動に一定の方向が確認されるとともに、中心市街地活性化事業は当初の目的を達成したものと判断し終了した。

問 土岐市駅前の中心市街地が空洞化したら、その都市の発展はないと言われる。中心市街地の活性化、にぎわい創出事業を企画し、財政面での強力な支援と市民の提案には真摯に検討してほしい。

答 いわゆる中心市街地はどこなのか、私どもの行政の立場で言えば、中心市街地はないという考え方である。今は個別の商店街の事業に対して支援をしている。皆さんの要請があれば

ば商店街の活性化を図っていききたいと思っております。駅前地区、駄知地区、下石地区に商業の集積地があり、それぞれの振興をそれぞれの施策でやっていかないとけないという考え方はある。

◆行政評価一覧について

問 事務事業評価シートはなぜ公開しないのか。

答 行政評価は行政の透明性を高め、効果的で効果的な市政の実現と内容を市民の皆さんにわかりやすく説明するための手段と考えている。行政評価一覧は95事業について事務事業評価シートをほとんどを網羅して、大局的にみられるというメリットがある。過去に全ての事務事業評価シートを公開していたが、閲覧数が少ないこと、また見る際のページ移動が煩雑という指摘があった。希望があれば閲覧は可能です。

問 外部評価委員会は設置できないか。

答 第6次総合計画においてPDCAサイクルによる進行管理の明確化を図っていかうというふうになっている。重点的に取り組んだ施策事業の評価にあたっては評価委員会の設置を検討していきたい。